

MYタウン 赤坂青山 AKASAKA AOYAMA



Vol.09 赤坂青山地域の大使館を訪ねて アメリカ大使館 United States of America

赤坂・青山地域にある大使館を訪ねてその国の歴史、文化、観光などについてインタビューをしています。

●国概要 アメリカ合衆国は、50の州とコロンビア特別区と構成されています。

●見たい、行きたい(観光) 多様な観光スポットの中から、今回は秋におすすめの観光場所やイベントを紹介しています。

●食べたい、飲みたい(食文化) アメリカと言えば、ピザ、ホットドッグ、ハンバーガー、フライドポテトなどが人気ですが、地域によって多様な食文化があります。

●スポーツ 野球やサッカーなどのチームスポーツは昔から盛んですが、最近の特徴は色々なスポーツで女子チームが増えていることです。

●大使館の取組み アメリカ大使館では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、「Go for Gold」というキャンペーンを行っています。

赤坂警察署からのお知らせ 架空請求のハガキに注意!!

こんなハガキが届いていませんか? ●「契約不履行による民事訴訟」 ●「総合消費料金に関する訴訟最終告知」

これらは詐欺のハガキです! 「お問合せ窓口」に記載の番号は犯人グループに繋がります

もしもハガキが届いたら... 赤坂警察署 生活安全課 防犯係へ連絡を!! ☎03-3475-0110 (内線2612)

赤坂消防署からのお知らせ 東京消防庁公式アプリの配信を開始しました!

消防や救急の知りたい情報をいつでも・どこでも・手軽に入手できる安全安心情報ツール! チャットボットやマップ機能を中心に、多くの機能を備え、ユーザー個々の興味関心に合わせて利用できる無料アプリです。

チャットボット あなたの質問に東京消防庁のマスコット「キューダ」が会話形式で答えます。

消防マップ 管轄の消防署やイベント、消防関係施設の場所を表示させます。

緊急ツール 心肺蘇生動画や緊急ブザーなど、もしもの時に役立つ各種ツールを備えています。

ミニゲーム ジグソーパズルや、子供から大人まで各レベルを備えた消防クイズにチャレンジ!

緊急時に役に立つ東京消防庁アプリ コンテンツがいっぱい!!

東京消防庁公式アプリ ダウンロードはこちら! ●問合せ/赤坂消防署 ☎03-3478-0119

赤坂・青山 地域の活動 vol.23

赤坂七丁目町会 副会長/防災部長 山本 治通 さん

赤坂七丁目町会では、いつ起こるか分からない災害に備え、近隣同士が普段からつながりを持つよう、防災活動に力を入れています。

●町会活動に携わったきっかけを教えてください。 18年前、偶然参加した町会の新年会で声をかけられたことがきっかけで町会活動を始めました。

●具体的な活動内容を教えてください。 防災活動を通して、人と人とのつながりの大切さを伝える活動をしています。

●「夜型防災訓練」 夜間の避難を疑似体験できます。実際の災害の様子のパネル展示やラジカステーションを使用したランタンの作成、新聞紙で暖を取る方法なども学べます。

●「家具転倒下敷き救出・搬送訓練」 簡易救助器具や身の回りにもあるものを使用し、転倒した家具の下から負傷者を救出する方法が学べます。

●「災害用伝言ダイヤル体験」 災害時の安否確認に有効な災害用伝言ダイヤル「171」の体験ができます。

●「血栓予防体操」 窮屈な避難所生活でエコノミー症候群にならないように、1人でできる体操をレクチャーします。

●読んでいる方へのメッセージ。 私はボランティア仲間と、被災地支援や訓練で気づいた事をどう伝えるか、生かすかを考えてきました。

●読んでいる方へのメッセージ。 あなたのアイデアをぜひ町会に持ち寄って頂き、一緒に楽しく活動しましょう!

令和元年度 港区総合防災訓練(赤坂会場)を開催します

港区では、毎年1回、区の地域に係る災害に関し、自助・共助・公助を実現するため、また、区民の防災意識の高揚と防災行動力の向上のために、各総合支所ごとに「地域訓練」として、総合防災訓練を実施しています。

今年度は、「回復と新体験～災害時に役立つ行動を身につけよう～」をコンセプトとし、体験型ブースや展示コーナーを出展します。

また、「子どもコーナー」をさらに充実し、親子で楽しく正しい知識を学べる紙芝居や放水体験などを実施します。

訓練参加者には、炊き出したアルファ米(保存食)と豚汁を無料提供します。今年度は、森永乳業株式会社様にご協力いただき備蓄保存可能な豆腐を使用して、皆様に豚汁を提供します。

地域住民同士の交流を図る絶好の機会ですですので是非お越しください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

＜令和元年度 港区総合防災訓練(赤坂会場)実施概要＞ ●日時 令和元年11月3日(日曜) 9:30～11:30(雨天決行) ●場所 港区立青山中学校(港区北青山1-1-9)

＜訓練スケジュール(予定)＞ 9:30～10:50 ブース訓練 10:50～11:30 パケツリレー、赤坂消防団による放水演技、講評 11:30～ 炊き出し配給訓練

●「夜型防災訓練」 夜間の避難を疑似体験できます。実際の災害の様子のパネル展示やラジカステーションを使用したランタンの作成、新聞紙で暖を取る方法なども学べます。

●「家具転倒下敷き救出・搬送訓練」 簡易救助器具や身の回りにもあるものを使用し、転倒した家具の下から負傷者を救出する方法が学べます。

●「災害用伝言ダイヤル体験」 災害時の安否確認に有効な災害用伝言ダイヤル「171」の体験ができます。

●「血栓予防体操」 窮屈な避難所生活でエコノミー症候群にならないように、1人でできる体操をレクチャーします。

●読んでいる方へのメッセージ。 私はボランティア仲間と、被災地支援や訓練で気づいた事をどう伝えるか、生かすかを考えてきました。

●読んでいる方へのメッセージ。 あなたのアイデアをぜひ町会に持ち寄って頂き、一緒に楽しく活動しましょう!

赤坂地区総合支所からのお知らせ 「地域デビューの集い」を令和2年3月8日(日)に開催します

これまで地域活動に参加できなかった方々に地域に関心を持ってもらい、地域活動に参加するきっかけづくりを目的としたイベント、「地域デビューの集い」を開催します。

町会・自治会の活動紹介や、講演会、地域活動を行っている方々によるパネルディスカッション等、盛りだくさんの内容になっています。

興味のある方は、各地区総合支所まちづくり課まちづくり係までお問合せください。

●日時 令和2年3月8日(日) 13:30～16:30(予定) ●会場 赤坂区民センター 区民ホール(3階) ●対象 どなたでも ●費用 無料

※詳細は決まり次第、区設掲示板やHP等でお知らせします。 ▶問合せ/赤坂地区総合支所 協働推進課 協働推進係 ☎03-5413-7272

令和の商品券「和らぎ」販売のお知らせ (港区プレミアム付商品券)

本年10月の消費税率の引き上げに伴う住民税非課税世帯や子育て世帯への影響を緩和するため、令和の商品券「和らぎ」(港区プレミアム付商品券)の販売を行います。

●購入方法 対象者一人あたり、額面2.5万円の商品券を2万円で購入できます。商品券は5回に分けて購入することもできます(1回あたり、5千円分の商品券を4千円で購入できます。)

●商品券利用期間および店舗 令和元年10月1日(火)～令和2年3月31日(火) 区内約1000店舗(予定)で利用可能。

▶対象者には港区からお知らせを送ります。 ▶詳しくは専用ホームページをご覧ください。 https://premium-gift.jp/minato

※商品券に乗り込めば個人情報の取扱いにご注意ください。 ▶問合せ/産業・地域振興支援部 産業振興課 プレミアム付商品券担当 ☎03-3578-2320

赤坂地区総合支所からのお知らせ 港区まちづくり条例を活用した、まちづくりの仕組みのご紹介

港区では、地域の課題は地域で解決し、地域の発意と合意に基づくまちづくりを推進するため、地域主体のまちづくり活動を支援しています。

現在、赤坂地区区内で組織登録されているまちづくり組織は右図のとおり2団体あります。(平成31年4月1日時点)

興味のある方は、各地区総合支所まちづくり課まちづくり係までお問合せください。

STEP1 みんなでまちについて考える STEP2 活動の輪を広げる STEP3 将来像を共有する STEP4 まちのルールをつくる STEP5 まちづくりを実現する

自主的なまちづくり活動を始めようとする段階 まちについて考えていくため「まちづくり組織」をつくる段階 地域の区民のみならずと考える方法共有する段階 具体的なまちづくりルールを決めていく段階

▶問合せ/赤坂地区総合支所 まちづくり課 まちづくり係 ☎03-5413-7038

赤坂・青山ふれあいサロン 赤坂青山3無のお笑いライブ ～そこにあるのは笑いだけ～

赤坂地区総合支所では、高齢者が住みなれた地域で安心して住み続けられるように、高齢者の交流の場として赤坂・青山ふれあいサロンを開催しています。

今回は、特別企画として、舞台等で活躍されているオフィス北野所属芸人の方々によるお笑いライブを開催します。

●日時 令和元年10月9日(水) 午後1時30分から ●場所 赤坂区民センター 4階多目的室 ●費用 100円(お茶代) ●対象 65歳以上の区民 ※事前申し込みはありません。当日、会場までお越しください。

【スペシャルゲスト】つまみ 枝豆 【出演者】まっく赤坂見附徒歩3分、銀座ポップ、シルキーライン、熊川 シュウフ、さえずり 鼻男、ピジーストリート、奥山ソウジ、ダブルソウル、幽玄亭、江藤 小吾、でこぼこ〜ず、ぶりん將軍 ※出演者は、予告なく変更になる場合がございます。

協力: オフィス北野 ※赤坂・青山ふれあいサロンは、毎月開催しています。開催日や開催場所等については、下記問い合わせ先までお気軽にお問い合わせください。

▶問合せ/赤坂地区総合支所 区民課 保健福祉係 ☎03-5413-7276

都税事務所からのお知らせ 9月は、固定資産税・都市計画税第2期分の納期です(23区内)

9月30日(月)までに、お手元の納付書裏面に記載されている金融機関、コンビニエンスストア等でお納めください。

▶問合せ/【口座振替について】徴収部 納税推進課 ☎03-3252-0955

eLTAX電子納税がさらに便利になります

2019年10月から地方税共通納税システムが稼働し、eLTAX電子納税がさらに便利になります。

●現在のURL http://www.eltax.jp/ ●9月下旬から開始予定のURL https://www.eltax.ita.go.jp

にせ都税職員にご注意ください!

都税事務所の職員を装って、個人情報取得したり、金銭をだまし取るようとする事例が発生しています。

▶問合せ/総務部 総務課 相談広報班 ☎03-5388-2925

都税における納税証明書は、すべての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます

納税証明書はすべての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます。ただし、申告・納付後1～2週間以内に納税証明書を申請する場合は、①領収証書の原本(領収印のあるもの)②申告書の控え(受付印のあるもの)(※②は申告税目のみ)の両方を、お近くの都税事務所等の窓口までお持ちください。

▶問合せ/港都税事務所 ☎03-5549-3800(代表)

この情報誌は赤坂・青山地域の在住在学が及び赤坂・青山地域のために活動を希望する方々の編集委員によって作成されています。赤坂・青山地域情報誌 第49号 令和元年(2019)9月発行



個性派

本屋さん

Check it out!

青山 山陽堂書店

表参道交差点にひと際目立つ壁画…あの建物が創業128年の老舗・山陽堂書店です。この地でずっとご家族で経営をしながら、青山のひとと歴史を見守り続けています。

「本屋を建ててよかったと思うのは、人と縁を保持することです」と話して下さったのは代表の遠山さん。改めて「山陽堂あつての人の繋がり」に驚いたといえます。例えば、72年ぶりの地元同窓会の帰りに立ち寄ってくれた80代のお客様だったり、病院経営をされていたご先祖の歴史を調べに来られた方、手伝いをしてら、実は遠山さんの叔母様が生まれた病院だったりと。

そんな繋がりの中のひとりに有名なイラストレーターの安西水丸さんと和田誠さんがいらしゃいます。和田さんにはかつてはナント！現在の山陽堂の書皮(カバー)を手掛けてくださったというから驚きです。この場所に立ち続けて皆の記憶・思い出と一緒に生きている山陽堂。最後に遠山さんは「たくさんの方々に励まされ、ご尽力頂きました。ご縁で繋がった水丸さんも和田さんも元々は本屋の山陽堂に来てくださったので、今後どんな形態で商売を続けるのかわかりませんが、いつでも「本が真ん中にある」商売をしたい」と笑顔で話してくれました。

山陽堂書店オリジナルグッズ第1弾のスパンジワイフ。デザインは山崎彰氏！

山陽堂書店オリジナルグッズ第1弾のスパンジワイフ。デザインは山崎彰氏！

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『広辞苑』

山陽堂書店
 北青山3-5-22 ☎03-3401-1309
 月～金11:00～19:00
 土11:00～17:00(不不休) 日・祝
 土11:00～17:00(不不休) 日・祝
 東京メトロ「表参道」駅(A3出口)徒歩30秒
 東京メトロ「表参道」駅(A5出口)徒歩7分
<http://sanyodo-shoten.co.jp/>

ギャラリーでは、本にまつ様々な展示やイベントを開催しているので、ぜひマメにHPをチェックして！

青山 日月堂

ここはもう古書店というより資料室

表参道交差点からみゆき通りへ、根津美術館の前の通りを挟んで向かい側のマンションの2階に「日月堂」の旗がひらり…。建物の2階へ上がって店内をのぞくと、朱赤色一色の空間！一体どんな本屋さんかしら？

ご案内には「芸術、美術デザイン並びにモダンズム都市文化関係、日欧文化交流に関する歴史、影響関係(特に日仏)表象文化研究など1910年～30年代を中心として、19世紀末～1960年頃までに発行、製本された書籍から紙モノまでを主力」として扱っているとのこと。

この日、店主の佐藤さんご自身、お気に入りの一点も「編帖」を見せてくださいました。当時農村での野良着のごく小さな端切れを集めて台紙に張り綴じたもの。人の生活の楽しみや喜びが感じられるものというのでした。このように、日月堂は、古書店といっても、単に古い書籍のみを扱うのではなく、古書店でなければできない様々な貴重な資料を扱っています。「昨今の断捨離は我慢！」と佐藤さん。みなさま、断捨離の折には、ぜひ日月堂にご相談を。思わぬお宝に化けるものがあるかも…ですよ。

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『聖書』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『広辞苑』

古書・日月堂
 南青山1-6-1-205 ☎03-3400-0327
 月～金 平日11:00～19:00、土・日・祝12:00～20:00 営業日:火・水・土
 営業不定日:月・水・金 日・祝
 東京メトロ「表参道」駅(A5出口)徒歩7分
 青山小学校「南小学校」徒歩2分
<http://www.nichigetu-do.com/>

青山 クレヨンハウス

子どもの本の有名店。大人も楽しめる！



今から43年前、当時はまだ静かだった表参道沿いに「クレヨンハウス東京店」は誕生しました。子どもから大人まで、年齢や世代を超えて楽しめる、読み継がれる絵本を置くというテーマで、スタッフが本をセレクトしています。オーナーである作家の落合恵子さんの先見性が随所に垣間見られる空間は、そのスタイルが投影されたような素敵な空間です。

子どもの本の専門店として、読者と作家の架け橋でありたいという思いから、毎月「子どもの本の学校」を開催。絵本作家や童話作家の方をお迎えして講演会を行っています。また同時に、「原発とエネルギーを学ぶ朝の教室」として、毎月1回土曜日の朝9時から、様々なジャンルの方を講師を迎え、学びの場も設けています。「絶対に」こうでなければならぬ！ではなく、「私はこう思う」という思いを、やわらかくしなやかに声にすることで物事が動く」との考えは、スツと背筋が伸びつつも、ふとゆったりと深呼吸したくなります。

誰にでも、子どもの頃に好きだった絵本があると思います。それは大人になっても、ふと手にしたくなる時があるかもしれません。店舗の外には、いつでも平常心に戻りホッと出来るよう、手入れの行き届いた草花で囲まれています。次のお休みに、懐かしい絵本や新しい発見に出会いに出かけてみませんか？

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『忘れられた日本人』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『忘れられた日本人』

クレヨンハウス 東京店
 北青山3-8-15 ☎03-3406-6308
 月～金 平日11:00～19:00、土・日・祝10:30～19:00
 12:00～20:00 営業日:火・水・土・祝10:30～19:00
 年中無休(年末年始を除く)
 東京メトロ「表参道」駅(A11出口)徒歩5分
 表参道駅「表参道」徒歩5分
<http://www.crayonhouse.co.jp/>

青山 旅の図書館

旅の本の世界に入り込んでゆったりできる温かみのある空間



南青山のオフィス街の一角にある旅の図書館。地元の方だけでなく、これから旅行を控えている方や観光について学んでいる方のための個性あふれる図書館です。名前に「旅」とつくだけあって、飛行機の機内誌や鉄道の時刻表、有名な旅行ガイドブック、全国各地の情報誌など、ここでしか閲覧することのできない旅に関する希少な図書が多数取り揃えられています。最も古い時刻表は明治5年のものだそうです。世界や日本各地のガイドブックも古いものから収集されており、最新の情報から少し前の情報まで幅広い観光情報が得られます。

実はこの図書館、もとは東京駅にありました。「観光の研究や実務に役立つ図書館」をコンセプトに、平成28年(2016)に青山でリニューアルしたのです。観光研究についても、地理学や民俗学、土木工学など幅広いテーマを扱っています。移転の際には職員の方が蔵書を6万冊に厳選したため、以前よりもコアな本に出会うことができます。また「たびとちCafe」という研究交流会を定期的に開催しているようです。毎回テーマに合わせてゲストスピーカー(講師)をお招きし、観光研究をしているの方々をつなげる場としても利用されています。ゆったりとした雰囲気の中、奥深い旅の世界に没れる、そんな素敵な図書館です。

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『忘れられた日本人』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『忘れられた日本人』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『忘れられた日本人』

公益財団法人 日本交通公社 旅の図書館
 南青山2-7-29 日本交通公社ビル ☎03-5770-8380
 月～金 10:30～17:00
 土・日・祝・毎月第4年・年末年始
 東京メトロ「都営大江戸線」青山一丁目駅(5番出口)徒歩3分
 「青山二丁目交差点」徒歩2分
<https://www.jtb.or.jp/library/>

赤坂 双子のライオン堂書店

本好きが高じて、高校2年生の時にインターネット上で「双子のライオン堂 古書店」を開設した店主の竹田信弥さん。古物商許可を取ったり、ホームページを整えたりしながら、地道にネット通販を続け、平成25年(2013)、ついに文京区白山で実店舗も構えることになりました。「その時、100年残す本屋をやると決めました」と竹田さん。自分の好きな本と本屋をどうやったら100年残せるかについて考え、試行錯誤の日々が続きました。そして平成27年(2015)に港区赤坂6丁目の物件と出会い、現在の営業形態になったそうです。

「双子のライオン堂」の大きな特徴は本のカテゴリー分けにあります。文学・社会・ビジネス・哲学などで区分けするのではなく、多彩な専門家に選書を依頼し、その専門家の著書とともに選書も並べています。その顔ぶれは作家や編集者だけでなく、批評家、歌人、アナウンサー、大学教授などバラエティ豊か。竹田さんは、カテゴリーを「人の名前」にして専門家の本棚がのそけて、買える店にしたそうです。

選書を依頼したい方のイベントに参加し、体当たりで交渉をしたこともあるそう。興味深い本屋さんがあれば全国津々浦々に足を運ぶことも苦でないのだとか。「なぜこんなに本が好きなのか、言葉や言葉を尽くしても魅力を説明できないんです。本屋を100年続けて答えが出せたらいいなと思っています。」

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『東見本』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『東見本』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『東見本』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『東見本』

双子のライオン堂書店
 赤坂6-5-21 ☎050-5276-8698
 水～土15:00～21:00/日 不定期
 東京メトロ「赤坂」駅(6番出口)徒歩4分
 赤坂五丁目交差点「徒歩3分」
<https://liondo.jp/>

赤坂 Books and Modern + Blue Sheep Gallery



乃木坂駅にほど近い、閑静な赤坂通り沿いに「えっ！こんなところに!？」と思わず言ってしまうような本屋さんがあります。小さな本屋さんですが、そこには沢山の魅力が詰まっています。ギャラリーを併設し、アートを単に鑑賞するのではなく、作者の人生観や時代背景を閲覧できる書籍が順を追って並んでいます。直に作品に触れながらその世界観をも同時に学ぶことができる、本当はとて大きな本屋さん。

店長の若井さんは元編集者で、大の本好き。看板ひとり切り盛りされているこのお店、実はほぼ手作り。お店の看板とも言えき大きな本棚も彼女の設計。壁面の塗装や装飾もご自身でされるほどの「アーティスト」としての側面も垣間見えます。この場所に出店したのは偶然だったそうで、本屋さんを始めようと思った時、偶然かこれやと奔走。なかなか良い物件に巡り合えなかったある日、今のお店の前を通りかかると「ああ、こんな所でできたらなあ…」と思ったそうです。その後、2度目に通りかかった時ちょうどテナント募集をしていたそうで、これが「運命の出会い」になりました。この場所は「人との出会い」も沢山あり、そのことはとても大きな魅力でもあると若井さんはお話してくれました。

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『アフリカの日々』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『アフリカの日々』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『アフリカの日々』

Books and Modern + Blue Sheep Gallery
 赤坂9-5-26 乃木坂201 ☎03-6804-1046
 火～土12:00～19:00
 日・月(展覧会により変更あり)
 東京メトロ「乃木坂」駅(2番出口)徒歩2分
 乃木公園「徒歩4分」
<http://booksandmodern.com/>

赤坂 金松堂書店

明治から赤坂を見守ってきた本屋さん

一ツ木通りにある金松堂書店は、明治43年(1910)から続く赤坂の本屋さんです。プロマイド好きだった初代店主が香川から上京する際、芸者が多い赤坂にお店を構えたそう。TBSのお藤元であり、首相官邸に近いことから、メディアや政治関係の本も置いてあります。また、どんなお客さんがどのような本を買っていくのか観察し、お客さんのことを考えながら本を陳列するなど、とても思いやりを注いでいます。インターネットにはかり頼るのではなく、昔ながらの本屋さんで自分に合った本を見つけ出すのも良いかもしれません。

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『宇結い伊三次捕物余話』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『宇結い伊三次捕物余話』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『宇結い伊三次捕物余話』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『宇結い伊三次捕物余話』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『宇結い伊三次捕物余話』

金松堂書店
 港区赤坂5-1-3 金松堂ビル ☎03-3585-0031
 月～金 10:00～22:00
 土10:00～19:00
 日・祝
 東京メトロ「赤坂」駅(1番出口)徒歩2分
 東京メトロ「赤坂見附」駅(10番出口)徒歩5分
 山王下「徒歩4分」
<http://www.hitotsugi.jp/shopping/kinshodo.html>

赤坂 Bookshop TOTO



TOTO出版が運営している「Bookshop TOTO」は、平成7年(1995)に3階「TOTOギャラリー間(ま)」のミュージアムショップとして設立された。気軽に入れる建築・デザインの専門書店。スタッフが入念に選定した国内外の建築・デザイン・インテリアに関する書籍はもちろん、誰でも自由に閲覧できる国内外の建築・インテリア雑誌のバックナンバーを揃えた「マガジン・ライブラリー」も有名です。建築関係でない方も、ここに来たら必ず気になる本や雑誌に出会えるはずですよ！

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『国語辞典』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『国語辞典』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『国語辞典』

無人数に1冊だけ本を持っていくとしたら？『国語辞典』

Bookshop TOTO
 南青山1-24-3 TOTO乃木坂ビル2F ☎03-3402-1525
 11:00～18:00
 日・祝(TOTOギャラリー「間」が休館中の土・日)
 月～祝 東京メトロ「乃木坂」駅(3番出口)徒歩1分
 乃木坂駅「乃木坂」徒歩3分
<https://jp.toto.com/bookshoptoto/>

「ギャラリー間」は11月24日(日)まで、ウェネチア・ビエンナーレ「銀獅子賞を受賞したベルギーの建築家ユニットの初の日本展覧会が絶賛開催中！」

探す楽しみ！見つける楽しみ！建築・デザインの専門書店

探す楽しみ！見つける楽しみ！建築・デザインの専門書店

探す楽しみ！見つける楽しみ！建築・デザインの専門書店

探す楽しみ！見つける楽しみ！建築・デザインの専門書店

探す楽しみ！見つける楽しみ！建築・デザインの専門書店

BOOK TRUCK さすらいの移動式書店

ある時は神社のお祭り。ある時は地方の喫茶店の軒先で。またある時は動物園の中。神出鬼没の本屋さんがある。そんな噂を聞いて訪ねた市場の一角には、木箱に収まった本たちがずらり。なるほど、確かにここは本屋さんです。

店主の三田修平さんは、大手書店やインテリア店に勤めた後、本屋さんを開くために独立。「チェーン書店では出会えない本に会える本屋さんを作りたい」と考えたものの、東京にはすでに個性的な書店が存在するため、ふと野外イベントに出店するのはどうかと思いついたのが移動式本屋さん誕生のきっかけでした。脳裏にあったのは移動図書館の楽しい記憶。平成24年(2012)にトラックを改装した移動式本屋「BOOK TRUCK」を立ち上げました。

店先は、依頼を受けた所から選んで行くというスタイル。最近は出版依頼も多く、新潟や長野まで遠征すること。赤坂・青山地域でも、昨年の東京ミッドタウンのイベントや今年春の赤坂アークヒルズの蚤の市に出店していました。赤坂・青山地域の特徴としては、日本在住の外国人が多く訪れること。日本語の簡単な小説や、子ども用に日本語の絵本を買ってくださるそうです。

移動式本屋さんの魅力は、普段書店に行かない人でも気軽に本と出会うこと。ふと立ち寄ると、新しい世界に出会えるかもしれません。出版情報などはこちら ▶ <https://www.facebook.com/Booktruck/>